

『今月の一言』

こんにちは。7月度に準備号を配信してから2か月程経過しました。その間、News Letterに対するご意見やご感想をいただきありがとうございました。改めまして今月からNews Letterを第1号として発行します！今後は1か月に1度のペースで配信していきたいと考えています。この2か月の間にお伝えしたいニュースやイベントがたくさんありましたので少々長いですがぜひご一読ください。

INDEX

★GC-JN からのお知らせ★

- 【速報！】GC-JN がローカルネットワーク会合で表彰されました！！
- GC-JN 会員数最新情報(2013年9月27日時点)
- 分科会成立状況 確定
- サプライチェーン分科会の冊子を発行
- 持続可能な農業ビジネス原則(SABPs)意見交換会(9月6日)
- 明日の経営を考える会(AKK)第6期スタート
- Leaders' Summit 2013(9月19日-20日@ニューヨーク)
- 【チェック！】GC-JN Facebook

★UNGC の最近の動き★

- 世界の会員数最新情報(2013年8月31日時点)
 - 【今月のピックアップ】UN-GC Monthly Bulletin より
 - 【募集】WEPs Leadership Award ノミネート受付中！
 - 【チェック！】GLOBAL CORPORATE SUSTAINABILITY REPORT 2013 発行
-

★GC-JN からのお知らせ★

○【速報！】GC-JNがローカルネットワーク会合で表彰されました！！

9/18にNYにてローカルネットワークミーティングが開催されました。席上、ジャパンネットワークの顕著な活動に対し、2013年度のローカルネットアワードを受賞しました！2012年度に引き続き2年連続3回目の受賞となります。これもひとえに、分科会活動を中心とする日ごろの会員みなさんの熱心な活動と、その状況をKSSを通じてUNGCに報告し、各国へ共有した結果と考えます。皆さんとこの受賞を喜びたいと思います！引き続き、事務局は皆さんの思いや活動のサポートをしていきます！どうぞ宜しくお願いします。

○GC-JN会員数最新情報(2013年9月30日時点)

GC-JN 会員数 180 団体および企業

・7/5以降の加入団体(8 団体)：

東京エレクトロン(株)、(株)LIXIL グループ、(株)山田木材、(株)大林組、一般社団法人ボランティアプラットフォーム、(株)フジクラ、(株)良品計画、国際航業(株)

○分科会成立状況 確定

8 月末時点での分科会成立状況は以下の通りです。

ISO26000、環境経営、関西、サプライチェーン、CSR 報告書研究、GC 社内浸透研究、人権教育、ヒューマンライ
ツデューデリジェンス、BOP ビジネス・ソーシャルビジネス、腐敗防止(計 10 分科会)

(SRI、SME、震災復興支援分科会は成立見送りとなりました)

○サプライチェーン分科会の冊子を発行

サプライチェーン分科会は 2008 年度の発足以来、多くの企業の皆様にご参加いただき、たくさんの知恵と経験
が盛り込まれたアウトプットを発行するに至りました。これは GC-JN にとどまらず、広く国内・世界のステークホ
ルダーへ発信できる提言書であり、社会の発展に役立つ有益な成果物です。本書は、CSR 調達を実践する企
業が率直に実情の分析を行い、実務上有効な手法の提言を行っているという点で、ユニークかつ広く企業一般
が活用できる内容となっています。

GC-JN では、今回の冊子を「**持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ**」第 1 弾として、今後シリーズ化し
ていきます。分科会活動の成果はもとより、国連 GC や GC-JN の活動に関連する話題についても GC-JN 内外、
また広く世界へ提案していきます。GC-JN はもちろん、CSR 活動を展開する全てのステークホルダーにとって役
立つ手引きとなることを期待しています。

本冊子は GC-JN の HP からダウンロードできます。詳しくは「トピックス」および「プレスリリース」をご覧ください
→<http://www.ungcjin.org/>

○持続可能な農業ビジネス原則(SABPs)意見交換会(9月6日)

GCO の SABPs 担当 Dr. Puvan を交え、GC-JN 会員との意見交換会(コンサルテーション)を開催しました。
SABPs プロジェクトでは、2014 年にかけて世界中の様々な国や地域でマルチステークホルダーによる意見交換
会を開催し、2014 年の国連総会での提案に向けて Principle を策定してく予定です。GC-JN からは、5 社がご出
席し、UNGC の HP に公開されているドラフト版白書について活発に議論しました。参加者には、予め 2 回の打合
せを通じた意見集約をしていただいたおかげで、中身の濃い有意義な会議となりました。

○明日の経営を考える会(AKK)第 6 期スタート

GC-JN では、会員組織の若手経営者(執行役員レベル)が、地球的かつ長期的な視点で世界の現状を捉え、自
らの課題として真摯に立ち向かうことができるような場を提供することを目的に、有識者との対話や共同研究に
よる活動を行っています。2008 年に開始した本プログラムは毎年 9 月から翌年 8 月までをひとつの期とし、毎月
1 回ずつの会合を行っています。第 6 期は 13 社からのご応募をいただき、9 月 12 日にスタートしました！

○Leaders' Summit 2013(9月19日-20日@ニューヨーク)

3 年に一度の Leaders' Summit がニューヨークにて開催されました。GC-JN からは、会合開始前の時点で加入予
定であった団体を含め 10 団体が参加しました。今回のリーダーズサミットにおいては、単一のビッグイシュー
／イベントにフォーカスさせたというより、MDGs のゴールが見えてきた中で、どうラストスパートをかけ、どうポ
スト 2015 につなげるか、という視点から、様々なイニシアチブ・ワークショップが、その進捗状況や今後の方針を持
ち寄った、という印象を受けます。その中で、Business for Peace、PRME Champions、Sustainable Agriculture
Business Principles(SABPs)が公式に GC イニシアチブに加わったことが特筆されます。分科会の数が多く、す

べてはカバーできませんでしたが、日本からの参加者で分担して分科会に参加しました。各分科会での様子は、後日ご報告いたします。* PRME (Principles for Responsible Management Education)

○【チェック！】GC-JN Facebook

GC-JN では Facebook を活用して、幅広くタイムリーな発信に力を入れています。おかげでさまで、「いいね！」の数は 336 まで伸びてきました(9/26 時点)。今後も、分科会活動、GC-JN イベント、新規会員のご紹介などを掲載していく予定です。ぜひ、皆様も一度ご覧ください！GC-JN Facebook は GC-JN ホームページのトップページからご覧になれます。Facebook アカウントをお持ちでない方も閲覧可能です。

GC-JN Facebookは[こちら](#)をクリック！

★UNGC の最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2013 年 8 月 31 日時点)

- ・Business sector 7721 (新規 102 社)
- ・Non-Business sector 4007 (新規 24 団体)

○【今月のピックアップ！】UN-GC Monthly Bulletinより

【韓国の LN が Business for Peace に参画】

9/19-20 に開催されたリーダーズサミットで新たなイニシアチブとしてBusiness for Peaceが立ち上がりました。それに先駆けて、韓国LNは 8 月に潘事務総長を交えてソウルで開催されたCEO Breakfastにおいて、積極的に韓国企業の協力を求めることに意欲を示しました。詳細は[こちら](#)をクリック！

【Communication on Engagement Policy for Non-Business Participants】

Communication on Engagement (COE) Policyが 10 月 31 日より実行されます。Non-businessの署名団体に対して、活動への積極的な参画を促すとともに透明性が高く明らかな報告の要素に関する項目を含むポリシーです。UNGCではいくつかのトレーニングセッションを準備しています。ご興味のある方はご登録の上、オンライントレーニングにご参加ください。詳細は[こちら](#)をクリック！

【GCO イベントカレンダー】

October : Communication on Engagement Policy for Non-Business Participants (9 Oct, and 23 Oct, online)

November : Caring for Climate Business Forum : (19-20 Nov, Warsaw)

その他Monthly BulletinにはWebinarのご案内もあります。出席登録をすれば日本に居ながら参加できますので、ご興味のあるトピックを探してご参加してみたいはいかがでしょうか。詳しくは[こちら](#)をクリック！

○【募集！】WEPs Leadership Award ノミネート受付中！

GC-JN 会員の中にもすでに署名されている企業がありますが、世界中で 600 以上の企業 CEO が女性のエンパワメント原則(WEPs)に署名しています。WEPs では、現在、WEPs Leadership Awards2014 と題し、すぐれた取り組みを実行している企業のノミネートを受け付けています(〆切 11/1)。女性のエンパワメントに関する具体的な取り組み事例を紹介したい WEPs 署名企業は、奮ってご応募ください。また、他社の取り組み事例もご参照くだ

さい。

WEPs Leadership Award2014 の詳細は[こちら](#)からご覧ください。

他社取組み事例は[こちら](#)からご覧ください。

第6回 WEPs 年次総会が以下の日程で開催されます。世界中の WEPs 署名者が集まる年に一度の会合です。ご興味のある WEPs 署名企業の方はぜひご参加ください。

日時: 2014年3月5日~6日

場所: UN 本部、ニューヨーク

○【チェック！】GLOBAL CORPORATE SUSTAINABILITY REPORT 2013

GCO は、2012年11、12月に実施した署名企業へのオンラインサーベイ結果をまとめたレポートを公開しました。このオンラインサーベイは2007年以来実施されており、世界中のGC署名企業すべてが対象となっています。2012年は113の国から1,712企業が回答しました。こちらのレポートを見ていただくことで、世界のGC署名企業がどういう項目に注力しているか、どういう項目が未達か、といった動向がおわかりいただけます。以下に概要を紹介しますが、視覚的に分かりやすいレポートになっていますのでぜひご覧になり、指標として参考にしてください。

■回答数:1,712社(従業員数 44%:10-249人, 34%:250-4,999人, 15%:5,000-50,000人, 7%:>50,000人)

■地域別割合:55%:ヨーロッパ、17%:ラテンアメリカ、16%:アジア

■設問:10原則に関する取組み、経営への融合、サプライチェーンでの取組み、パートナーシップ等への取組み

■結果(取り組んでいる企業の割合が高い項目、低い項目を抜粋)の仮訳は以下の通り

★10原則

取組みの度合い	人権	労働	環境	腐敗防止
高	企業内規則に全体的に取り込む(72%)	差別禁止(83%) 機会均等(78%) 組合結成・参加の自由(77%)	目標と指針の実行(66%) 消費と責任ある使用(65%)	企業内規則に全体的に取り込む(70%)
低	影響調査(13%)	影響調査(23%)	マルチステークホルダーダイアログ(27%)	コレクティブアクションに取り込む(13%)

★経営

	約束(コミット)	定義	実行	評価	対話(コミュニケーション)
高	CEOレベルの政策や戦略(65%)	ビジョンやゴールに組み入れるための政策を制定	内部のコミュニケーションルートを使用(77%)	持続可能な取組みをモニター&評価する(58%)	企業の持続可能性に役員が賛同した報告を行う(58%)

		(69%)			
低	子会社に GC 原則の遂行を要求する (29%)	GC 原則を地域の優先課題と結びつける (34%)	役員報酬を持続可能な行動と結びつける (8%)	従業員評価の持続可能な基準制定(21%)	子会社間でのマルチステークホルダーダイアログを促進する (19%)

★その他の項目における取組み度合い(高/低)

サプライチェーン

サプライヤーが GC に署名しているか (70%)

改善行動の確認 (9%)

国連活動や国連の目標に関する行動

パートナーシップの実行 (78%)

寄付の影響考慮 (41%)、公の政策に参画する (41%)

パートナーの種類

NGO (77%)/企業 (66%)

パートナーシップの範囲

国内 (89%)/グローバル (47%)

オリジナルのレポート(英語)は[こちら](#)をクリック！より詳しいデータがわかりやすく掲載されていますのでぜひご覧ください！

=====

著者:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局

編集:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局、広報委員会

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931

Email: gcjnoffice@ungcjin.net

©2013 Global Compact Japan Network all rights reserved.

※貴社・貴団体内における GC 浸透目的での転送は歓迎します！